

Playing Charter (ラグビー憲章) 考察 1

ルールブックの冒頭の Playing Charter には大切なことがいっぱい書かれています。
IRB 競技規則 (ルールブック) の冒頭の Playing Charter [日本語版](#)が新しくなりました。

chart は海図です。charter は憲章・免許状という意味です。
Playing Charter の[原文](#)を元にして次の題目により考察を進めましょう。

- 目次 1. Charter の紹介
- 2. Charter を読み解く
- 3. 5 つの訓徳
- 4. Charter と fair の精神
- 5. Charter と moderate and reasonable について

Charter の紹介

ラグビーが欧州から全世界に広まり、多くの人によって行われるようになり、アマチアスポーツであることを誇ってきたけれどもプロ化が進み、プロ意識と勝利至上主義の混在から、競技精神の高揚と競技方法の統括推進のため、IRB としてプレーの指針となるものの必要性を唱えられるようになりました。

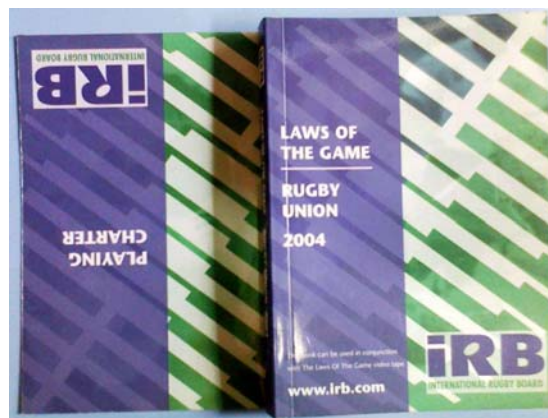
1866 年にラグビースクールで行われてフットボールの規則が整理しまとめられて以来精神的なものも含めて Laws of the Game (ルールブック) が競技の原理・原則と精神面も含めて、完全充足するものと考えられていました。

1970 年代当初の RFU 創立 100 周年の記念式は、グローバルスポーツラグビーの出発式でもありました。グローバル化が急速に進み、統合組織の強化と意識統一のための綱領の必要性から原案が推成されました。

1997 年改定して一般に知らしめられるようになりました。ミレニアム改定に際しても議論が繰り返されました。

2002 年日本協会は 1997 年改定版を翻訳してルールブックへ組み入れました。

2004 年の IRB ルールブックに初めて PLAYING CHARTER が組み込まれました。但し、裏表紙から、上下も反対にした奇妙なものでした playing charter をルールブックに組み入れるべきかどうか完全に結論が出ていなかったのです。知恵と工夫の産物としてのワンクッション置かれたのです。



写真：2004 年度競技規則 (英文)

2005年のルールブックでは冒頭に上下も同じ形で完全に組み込まれました。
2007年日本語版は新しいPlaying Charterを翻訳し書き替えました。

Playing Charter の目次（日本語版）

a. はじめに	Introduction	2
b. 競技の原則	Principles of the Game	4
c. 競技規則の原則	Principles of the Laws	8
d. 結び	Conclusion	10

この憲章がラグビーの普及発展に役立つことを望まれるところです。

It is hoped that this Charter will help reinforce those cherished values,.

2007.09.06
西川 義行